

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社武蔵野フーズ	事業所名	株式会社武蔵野フーズ 所沢工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	委託物流会社と情報共有化して、無駄な輸送出動の無い様に努める。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	自動車温暖化対策計画書の提出の依頼と提出状況の確認を口頭で行っている。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	グリーン経営を取得した業者も中には運搬している。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	・関連の物流会社の有効利用(センター前デポとして利用。) ・各拠点の輸送便を活用しコスト抑制と効率化を進める。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	得意先様指定番重を導入して規格標準化を継続する。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	地方デポ向け横持便の混載運用と併せ、首都圏輸送も一部混載化を進め台数抑制に努める。又、得意先様の共同輸送を利用する。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	物量に応じ車格変更(軽車両・2t車両)を積極的に用いた運行。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	得意先様と出荷・納品時間を設定し、運行行程の簡素化に努める。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	状況に応じて早出し/分車対応を実施し、運行時間短縮に努める。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	出荷スケジュールを定め、円滑な出荷体制を布く。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ()	基本はカテゴリーの異なる商品の混載輸送を実施し積載率の改善と仕分委託先を集約し、輸送距離短縮を図る。また特需製品発生時の出荷の際は事前協議を行い、最小限の台数確保と最短行程を構築し温室効果ガス削減に努める。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	最新規制適合ディーゼル車やハイブリッド車の導入の要請を行っている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ講習の実施要請を行い、ミーティングや掲示物等で教育を行って貰っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>アイドリングストップの推奨と無駄なアクセルワーク防止の注意喚起を行う。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>工場待機場所が狭く、コース単位で出荷時間を定め、周辺での路駐防止を図る。</p>	○	○	○